

A. 主な動き

1. 内政

大統領の動き

- ・14日、ヤヌコーヴィチ大統領は、クリューエフ第一副首相兼経済発展・貿易相、ボハティリョーヴァ国家安全保障国防会議書記及びアニシチェンコ保健相を解任し、ボハティリョーヴァ前国家安全保障国防会議書記を副首相兼保健相に、クリューエフ前第一副首相兼経済発展・貿易相を国家安全保障国防会議書記に任命する大統領令を発出。
- ・16日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ボルタヴァ州を訪問、クレメンチュク教員養成学校及びクリューコフ鉄道車両工場を視察。

ティモシェンコ前首相に関する動き

- ・13日、検事総局は、ティモシェンコ前首相の診察を行うため、ドイツとカナダからの医師団がウクライナに到着した旨発表。一方、同日、赤十字国際委員会は、現時点では医師の派遣を見送り、必要に応じ改めて派遣を検討する旨発表。
- ・14日、国家刑務所管理庁は、同日、合同医師団がティモシェンコ前首相が収監されているハルキフ市カチャニフスク女囚隔離施設に到着し、ウクライナ医師団と共に同前首相の診察を開始した旨発表。
- ・16日、国家刑務所管理庁及び保健省は、ティモシェンコ前首相に対する国際医療チームの診察が終了し、その診断はウクライナ人医師によるこれまでの発表と基本的に合致し、手術の必要性も認められなかった旨発表。これに対し、ヴラセンコ・ティモシェンコ前首相弁護人は、ドイツ、カナダ両医師団とともに前首相の健康状態は深刻であると診断した旨発言、保健省は診断結果を操作している旨批判。

その他

- ・14日、検事総局は、ルツェンコ前内相に対し、禁錮4年半、3年間の官職就任権の剥奪を求刑。16日、ルツェンコ前内相弁護人は、2月27日にキエフ市ベチェルスク地区裁判所が同前内相に対する判決を宣告する予定である旨発言。
- ・17日、プシヨンカ検事総長は、リトヴィン最高会議議長等より議員買収に関する調査依頼が検事総局に届いたが、本件を検事総局が調査する予定はない旨発言。
- ・17日、アザーロフ首相は、近日中に第一副首相候補をヤヌコーヴィチ大統領に提案する旨発言。

2. 経済

マクロ経済

- ・13日、クリメンコ国税庁長官は、GDPの30%が闇経済に相当していると、国税庁はこの指標を減らすべく対策をと

っている旨発言(以前、財務大臣は最近5年間のGDPの28～39%が闇経済に相当するとし、国立戦略研究所は、GDPの52.8%が闇経済に相当する旨推定)。

IMF

- ・13日、ウクライナのIMFオフィスは、IMFからの第1回トランシェが予定通り行われたものの、トータルではウクライナは2012年に35億ドル返済する必要があると、最近、多くの専門家はウクライナが新たなIMFからの融資を得ないとローンを支払えないのではないかと危惧を有している旨報告。

- ・15日、アキーモヴァ大統領府第一副長官は、ウクライナはIMFとの交渉を引き続き行っているが、融資が受けられなかったとしても債務不履行はウクライナに脅威を与えるものではない旨発言。

農業

- ・15日、オニシェンコ露連邦消費者権利保護・福祉分野監督庁長官は、ウクライナ産チーズに関し、品質に問題があるため、5トンが押収され、120トン以上が輸入を差し止められた旨発言。

ガス問題

- ・14日、EUエネルギー委員会は、ウクライナとロシアの交渉の進展を慎重にモニターする旨発表し、その結果はウクライナEU関係に重大な影響を及ぼしかねない旨指摘。
- ・15日、イルディズ・トルコ・エネルギー天然資源相は、ウクライナを訪問し、ボイコ・エネルギー石炭産業相と会談。両者は、電力輸出、ガス問題及びLNGターミナル計画等のエネルギー分野における二国間協力に関し協議。
- ・17日、世界銀行は、2012年 - 2016年国別パートナーシップ戦略においてウクライナのガス輸送システム近代化のためナフトガスへの援助を決定した旨発表。

3. 外政

グリシチェンコ外相の訪露

- ・13、14両日、グリシチェンコ外相は、ラヴロフ露外相と共に、露ニジニ・ノヴゴロドを訪問し、ウクライナ・ロシア国際委員会国際協力小委員会第6回会合に出席。両者は、エネルギー及び経済問題、地域紛争の解決、両国外務省間の領事協力、国境画定問題及び露黒海艦隊問題等に関し協議の上、ウクライナ・ロシア外交関係樹立20周年共同宣言を採択し、2012年両国外務省間協力計画に署名。また、グリシチェンコ外相は、ニジニ・ノヴゴロド・ウクライナ総領事館開館式に出席。

リトヴィン最高会議議長のルクセンブルク訪問

・14日、ルクセンブルクを公式訪問したリトヴィン最高会議議長は、モザール国民議会議長と会談し、両国議会間交流活性化の必要性を強調した上で、経済分野における相互協力につき協議。両者は、二重課税及び脱税防止に関する条約の早期批准を確認。

・14日、リトヴィン議長は、アンリ大公と会談し、二国間関係及び国際問題に関し協議。また、両者は、ウクライナとロシアのガス価格交渉、ウクライナの欧州統合及びチェルノブイリ問題に関して意見交換。また、同議長は、シュナイダー農業・農村開発大臣兼スポーツ大臣兼経済連帯担当大臣、ベッテル・ルクセンブルク市長及びホイヤー欧州投資銀行総裁等とも会談。

その他

・11日、アザーロフ首相は、露、ベラルーシ及びカザフスタンとの関税同盟について、同盟に加盟せず、「3 + 1」フォーマットでの協力関係を築くことが最善であるとする考えを表明。

4 . 防衛

参謀総長等の交代

・16日、ペドチェンコ参謀総長は、ヤヌコーヴィチ大統領に辞表を提出。

・18日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ペドチェンコ参謀総長を解任、ザマナ新参謀総長を任命、同時にオリニク国防第一次官を任命。

武器供与

・11日、バラミゼ・グルジア副首相は、ウクライナとグルジアとの軍事協力は継続中で全く問題が無く、ウクライナの対グルジア武器供与に関するロシアによる批判は該当しない旨発言。

・14日、ウクルスベツエクスポート社は、バラミゼ・グルジア副首相の発言を否定、ウクライナとグルジアの間には約2年間軍事品供与はなく、またグルジアへの軍事物資輸出に関する苦情も受け取っていない旨発表。

その他

・14～18日、マクシモフ海軍司令官率いる軍事代表団は、中国を訪問、中国との戦略的パートナーシップの発展及び将来的な二国間軍事協力等について議論。本訪問は、昨年8月の陳中国総参謀長来訪時の合意結果である軍事協力行動計画によるもの。

・17日、国防省は、Mi - 24戦闘輸送用ヘリコプター4機を含む平和維持部隊のコンゴ民主共和国への派遣を開始した旨発表。

(了)